



# ワークショップ デリダ × ハイデガー × レヴィナス

Workshop: Derrida, Heidegger, Levinas

日時: 2014年10月11日(土)

10:00-18:00

場所: 早稲田大学 戸山キャンパス (文学部)

33号館第一会議室

1964年、若きジャック・デリダは高等師範学校にて講義「ハイデガー——存在の問いと歴史」を実施し、レヴィナス論「暴力と形而上学」(を)発表し、彼らとの哲学的対話を深化させていた。それから半世紀経った今年、デリダの没後10年に際して、これら三人の思想家に関するワークショップを脱構築研究会、ハイデガー研究会、レヴィナス研究会の共同主催で開催する。

10.00-12.00

第1部 ハイデガー × デリダ 司会: 齋藤元紀 (高千穂大学)

川口茂雄 (青山学院大学) 「前代未聞、音声中心主義」

峰尾公也 (早稲田大学) 「ハイデガー、デリダ、  
現前性の形而上学——その批判の解明」

亀井大輔 (立命館大学) 「自己触発と自己伝承  
——デリダの『ハイデガー』講義をめぐって」

13.00-15.00

第2部 レヴィナス × デリダ 司会: 藤岡俊博 (滋賀大学)

馬場智一 (長野県短期大学) 「融即から分離へ——ハイデガー講義  
『哲学入門』(一九二八~二九年)の聴講者レヴィナス」

小手川正二郎 (國學院大学) 「暴力と言語と形而上学  
——「暴力」をめぐるレヴィナスとデリダの対決」

渡名喜庸哲 (慶応義塾大学) 「デリダはレヴィナス化したのか」

15.30-18.00

第3部 全体討論 デリダ × ハイデガー × レヴィナス

司会: 西山雄二 (首都大学東京)

藤本一勇 (早稲田大学)、宮崎裕助 (新潟大学)

齋藤元紀 (高千穂大学)、藤岡俊博 (滋賀大学)

入場無料 事前予約不要

主催: 脱構築研究会、ハイデガー研究会、レヴィナス研究会